

令和2年度 沖縄歯科衛生士学校自己評価（歯科衛生士科） 2020年1月実施

評価	4:適切 3:ほぼ適切 2:やや適切 1:不適切	評価者	前期:14名 学校運営委員 4名、専任教員 6名、指導教員 2名、事務 2名 後期:16名 学校運営委員 6名、専任教員 6名、指導教員 2名、事務 2名	
学校教育方針（教育理念）				
温かく豊かな人間性を養い、保健医療実践者として、専門的知識、技術をもって地域社会の健康と福祉に貢献できる歯科衛生士を育成する				
学校教育目標	1. 歯科医療の高度化と社会環境の変化に対応することのできる歯科衛生士			
	2. 幅広い見識と豊かな人間性を有する歯科衛生士			
	3. 高い倫理観を持つ歯科衛生士			
	4. 資質向上に寄与することのできる歯科衛生士			
	5. 多職種連携のできる歯科衛生士			
	6. 科学的根拠に基づいた判断のできる歯科衛生士			
重点努力目標	1. 歯科衛生士としての必要な知識・技術を習得できるように学習意欲の向上を目指す			
	2. 医療人としての責任感と使命感を養い向上心のある人材を育成			
	3. 歯科衛生士国家試験全員合格を目指す			
	4. 施設設備の充実と環境整備			
大項目	評価項目	前期評価	後期評価	成果、課題と次年度(今後)の改善方策
I 教育理念、目的、人材育成像	1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3.9	3.9	【課題】 ・重点努力目標は、学校側の視点となっているので、学生側視点の目標を加える方が良い ・教育理念はもう少し簡潔に短くまとめる方が良い ・教育理念、学校教育目標についての周知が不十分 【改善方策】 ・HP、学生募集要項、学生便覧、保護者への通知文書を通して広く周知に努める
	2. 学校における職業教育の特色は何か	3.4	3.9	
	3. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.6	3.7	
	4. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	3.1	2.9	
	5. 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向付けられているか	3.3	3.6	
II 学校運営	1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.4	3.9	【課題】 ・教育活動に関する情報公開は不十分 ・情報システム化による業務の効率化は不十分 【改善方策】 ・HPの充実を図る ・学生情報システム化の構築 (今年度予算組みを行い進行中。コロナの影響により業者が来校できず延期)
	2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.4	3.9	
	3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3.4	3.8	
	4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	2.7	3.7	
	5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.1	3.9	
	6. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.2	3.4	
	7. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.6	2.9	

大項目	評価項目	前期評価	後期評価	成果、課題と次年度(今後)の改善方策
III 教育活動	(目標の設定等)			
	1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が、策定されているか	3.6	3.8	【成果】 ・教育課程は教育理念を元に編成され、必要に応じて見直しを行っている ・毎年シラバスの確認を行い、到達目標、学習時間を明確にしている ・シラバスは学生及び全教職員へ事前に配付し周知を行っている
	2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.6	3.8	
	(教育方法・評価等)			
	3. カリキュラムは体系的に編成されているか	3.4	3.8	【成果】 ・成績考査・進級・卒業については学則に明記されており、カリキュラムの見直しを定期的に行っている ・毎年、臨床現場で活躍している卒業生を講師に迎え講話・実習を実施 【課題】 ・授業評価体制及び外部関係者からの評価取り入れ
	4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.5	3.8	
	5. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.1	2.7	【改善方策】 ・卒業時に、在学中の満足度等についてのアンケート調査や就職先へのアンケートを実施し授業内容の見直しの参考にする
	6. 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.6	3.1	
	7. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.8	4.0	
	(資格試験)			
	8. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.3	3.8	【成果】 ・1年次から国家試験過去問題を課題として与え対策の取り組みを行っている ・期末試験不合格者には課外補習の実施 ・カリキュラムの中で国家試験直前対策講座を取り入れている
(教職員)				
9. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.2	3.7	【成果】 ・実務経験豊富な専任・兼任教員である ・研修費の予算組みを行い積極的な研修会等への参加を促している ・コロナ禍でのオンライン研修が有利に活用できている	
10. 関連分野における業界との連携において、優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3.1	3.4		
11. 関連分野における先端的な知識・技能等を修復する為の研修や教員の指導力育成など資質向上の為の取組が行われているか	3.2	3.6		
IV 学修成果	1. 就職率の向上が図られているか	3.7	3.8	【成果】 ・資格取得をした学生は、100%歯科衛生士として勤務 ・卒業後にアンケートを実施し学校の教育活動の改善に取り組んでいる 【課題】 ・令和元年度資格取得94% ・令和2年度:休学者1人、退学者1人 【改善方策】 ・国家試験全員合格を目指し、成績不振者への早期のサポートを強化 ・休・退学に至る原因、傾向を把握し対策を講じる (具体的には気になる学生の早期の把握と面談の実施) ・就職先へのアンケート調査検討し現状把握からスタート
	2. 資格取得率の向上が図られているか	3.6	3.8	
	3. 退学率の低減が図られているか	3.4	3.7	
	4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3.2	
	5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.8	3.3	

大項目	評価項目	前期評価	後期評価	成果、課題と次年度(今後)の改善方策
V 学生支援	1. 就職に関する支援体制は整備されているか	3.6	3.9	【成果】 ・就職説明会を実施、卒業までに全員就職決定を目指し支援を行っている ・担任制を取っているため定期的に学生アンケートを実施し、気になる学生は早期に面談を行い必要があれば保護者への連絡を頻繁に行う。特に一人暮らしの学生には教務全体で確認するよう留意している ・修学支援新制度を始め、奨学金制度については随時説明会を実施、100%の申請サポートを実施 ・毎年の健康診断結果の把握と問題有りの場合には受診指導 ・入学時点で健康につき特記事項を教員全体で把握し、緊急時に対応出来るよう留意 ・毎年復職支援セミナーを開催し復職サポートを実施 ・専門実践教育訓練指定講座の認定を受け社会人入学者への支援を実施 ・既修単位認定を明確にし編入学の規定を定めている
	2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.7	3.8	
	3. 保護者と適切に連携しているか	3.5	3.4	
	4. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.4	3.4	
	5. 学生の健康管理を狙う組織体制はあるか	3.4	3.4	
	6. 学生の生活環境への支援は行われているか	3	3.3	
	7. 卒業生への支援体制はあるか	3	3.5	
	8. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3.7	
VI 教育環境	1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.9	3.3	【成果】 ・令和2年度実習施設の公募を行い拡充 ・毎年実習担当者会議を開催、成績評価基準を明確化し教育内容の統一を図る ・防災計画を立て、消防本署と連携し、毎年2回の避難訓練を実施 【課題】 ・高額医療機器の経年劣化対応 【改善方策】 ・減価償却予算の積み立て ・助成金の活用
	2. 学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	3.5	3.6	
	3. 防災に対する体制は整備されているか	3.4	3.5	
VII 学生募集	1. 高等学校等、接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.5	3.7	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で学校訪問は中止となったが、オープンキャンパスを工夫し受験生の不安に応える事ができた ・国家試験合格率、就職率の情報開示 ・学納金は九州各県の中でも低額を維持
	2. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.6	3.9	
	3. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.6	3.9	
	4. 学生納付金は妥当なものとなっているか	3.4	3.8	
VIII 財務	1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.9	3.3	【成果】 ・直近4年間は出願者数の増加傾向にある ・財務については税理士による定期的な監査を受け適正に処理 ・設置法人の財務情報公開及び、修学支援制度における情報公開実施 【課題】 ・会館老朽化及び大型台風等による設備整備に係わる支出の増加 ・今後迎える18歳人口の減少による定員の充足率の向上と維持 【改善方策】 ・社会人入学を視野に入れた基盤作りへの取り組み ・HPの活用、魅力ある学校作りとその周知方法
	2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.7	3.6	
	3. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.5	4.0	
	4. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.1	3.8	
IX 法令等の遵守	1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5	4.0	【成果】 ・法令・専修学校設置基準の自己点検を行い適正な運営の実施 ・個人情報保護については設置法人に準じている ・2019年度より学校自己評価を行いHPに公開し問題点の改善に努めている
	2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2	3.6	
	3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.4	3.6	
	4. 自己評価結果を公開しているか	3.1	3.9	
X 社会貢献・地域貢献	1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.9	3.5	【成果】 ・本校シミュレーションシステムや歯科用ユニットを活用し歯科衛生士復職支援セミナーや歯科衛生士会研修会の実施 ・入学時からボランティア活動の推奨及び紹介を行っている
	2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.2	3.6	
その他所見				